

財政健全化計画等執行状況

これは、国などから過去に5%以上の高金利で借り入れた資金を平成19年度～21年度に、補償金免除で繰上償還(期限より前に借金を返すこと)するために必要な計画の執行状況です。通常、繰上償還する場合、利子から計算した「補償金」を支払わなければなりません。行政改革・経営改革を内容とした「財政健全化計画」を策定すると「補償金なし」で繰上償還できるという特別な制度ができました。小坂町もこの制度を利用して繰上償還しましたので、計画がどれだけ達成できたかを皆さんにお知らせします。

平成19年度～20年度(下線の数値)は実績値、平成21年度～23年度は見込みです。一部目標値に届きませんでしたが、今後も目標達成に向けてできるだけ努力します。

普通会計

1.地方債現在高(借金がどれだけあるか) (単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	基準年度
計画目標値 A	4,824	4,468	4,227	4,158	4,085	5,036
実績(見込)値 B	4,708	4,472	4,315	4,171	4,085	
乖離値 C(A-B)	116	▲ 4	▲ 88	▲ 13	0	951
乖離率 D(C/A)	2.4%	-0.1%	-2.1%	-0.3%		18.9%

2.実質公債費比率(借金の割合はどれだけか) (単位:%)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	基準年度
計画目標値 A	18.1%	17.3%	16.2%	16.0%	16.5%	19.0%
実績(見込)値 B	17.9%	16.3%	16.2%	15.2%	15.8%	
乖離値 C(A-B)	0.2%	1.0%		0.8%	0.7%	3.2%
乖離率 D(C/A)	1.1%	5.8%		5.0%	4.2%	16.8%

3.職員数 (単位:人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
計画目標値 A	73	71	67	66	63
実績(見込)値 B	72	72	71	70	66
乖離値 C(A-B)	1	▲ 1	▲ 4	▲ 4	▲ 3
乖離率 D(C/A)	1.4%	-1.4%	-6.0%	-6.1%	-4.8%

4.改善額(計画値を上回れば目標達成) (単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	合計	補償金免除額
計画目標値 A	32	50	82	90	105	359	9.8
実績(見込)値 B	-11	24	48	78	85	224	
乖離値 C(B-A)	▲ 43	▲ 26	▲ 34	▲ 12	▲ 20	▲ 135	214
乖離率 D(C/A)	-134.4%	-52.0%	-41.5%	-13.3%	-19.0%	-37.6%	2185.7%

今後の見通し

借金の残高・職員数・経費削減を示す改善額で目標値に達しなかった。政策変更によりやむを得ない部分もあるが、借金もできるだけ抑制し、日常的な事務執行において今後も経費削減に努めたい。

簡易水道会計

1.公営企業債現在高(借金がどれだけあるか) (単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	基準年度
計画目標値 A	153	143	129	122	115	192
実績(見込)値 B	153	143	129	122	115	
乖離値 C(A-B)						77
乖離率 D(C/A)						40%

2.職員数 (単位:人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
計画目標値 A	1	1	1	1	1
実績(見込)値 B	1	1	1	1	1
乖離値 C(A-B)					
乖離率 D(C/A)					

3.改善額(計画値を上回れば目標達成) (単位:千円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	合計	補償金免除額
計画目標値 A	3,183	3,183	3,183	4,091	4,091	17,731	5,544
実績(見込)値 B	2,322	1,441	2,300	3,493	3,493	13,049	
乖離値 C(B-A)	▲ 861	▲ 1,742	▲ 883	▲ 598	▲ 598	▲ 4,682	7,505
乖離率 D(C/A)	-27.0%	-54.7%	-27.7%	-14.6%	-14.6%	-26.4%	135%

実績値が計画承認時の目標値に届かない理由・今後の見通し

経営改善のため、料金収入の増を目標としたが、鳥インフルエンザや地震により十和田湖の観光客が減少したことや、システム改修による料金徴収方法の変更があり、使用料収入が減となった。今後でもできるだけ収入増に努力したい。

水道事業会計

1.公営企業債現在高(借金がどれだけあるか) (単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	基準年度
計画目標値 A	2,025	2,401	2,787	3,063	3,001	1,919
実績(見込)値 B	1,956	1,921	2,787	3,063	3,001	
乖離値 C(A-B)	69	480				▲ 1,082
乖離率 D(C/A)	3.4%	20.0%				-56%

2.職員数 (単位:人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
計画目標値 A	1	1	1	1	1
実績(見込)値 B	1	1	1	1	1
乖離値 C(A-B)					
乖離率 D(C/A)					

3.改善額 (単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	合計	補償金免除額
計画目標値 A	7	7	7	10	10	41	6.9
実績(見込)値 B	10.5	4.3	7	10	10	42	
乖離値 C(B-A)	3.5	▲ 2.7				0.8	34.9
乖離率 D(C/A)	50.0%	-38.6%				2.0%	505.8%

実績値が計画承認時の目標値に届かない理由・今後の見通し

システム改修による料金徴収方法の変更があり、1か月分使用料収入が減となった。最終目標は達成する見込みである。